

アルドステロン症の検査(4日間)を受けられる患者様へ

患者氏名:	様	主治医名:	担当医名:	受持ち看護師名:
月日(日時)	/ /	/ /	/ /	/ /
経過(病日)	入院当日	2日目	3日目	退院
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 検査の必要性を理解し検査を受けることに同意ができる。 不安なく検査を受けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 検査後の出血がない。 	<ul style="list-style-type: none"> 退院後の生活の注意点が理解できる。 	→
治療・薬剤 (点滴・内服) リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> 持参薬を入院時に確認させていただきます。 持参された内服薬に変更がある場合は説明いたします。 	<ul style="list-style-type: none"> 検査前に点滴を開始します。帰室後も問題がなければ終了します。 朝から抗生剤の内服を開始します(1日3回 2日間) 	<ul style="list-style-type: none"> 8時から12時まで点滴を行います(生食負荷試験) 	→
処置	<ul style="list-style-type: none"> 翌日の検査のため、足の付け根の毛剃りと足の甲に印をつけます。 	<ul style="list-style-type: none"> 検査着に着替え、陰部を保護するガーゼを当てます。 	<ul style="list-style-type: none"> 医師が検査で針を刺したところの消毒を行います。 	
検査	<ul style="list-style-type: none"> 血液検査、尿検査、胸部レントゲン、心電図、血圧脈波検査を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> (:) にストレッチャーで検査室へ行き、カテーテルを入れて副腎静脈から採血検査をします。 	<ul style="list-style-type: none"> 8時、12時に血液検査を行います。 寝る前に、指に酸素濃度を測る機械をつけます。翌朝起床後に外します。 	
活動 安静度	<ul style="list-style-type: none"> 病院内は自由です。 	<ul style="list-style-type: none"> 検査から帰室後3時間ベッド上安静です。検査で針を刺した側の足は動かさないようにして下さい。 主治医診察後に安静解除され、病棟内歩行可です。 安静解除後初めての歩行は看護師が付き添いをさせていただきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 病院内は自由です。 	
食事	<ul style="list-style-type: none"> 普通食 	<ul style="list-style-type: none"> 朝食は絶食です。昼は検査終了後に寝たまま食べることができます。 	<ul style="list-style-type: none"> 検査終了まで絶食です。 	<ul style="list-style-type: none"> 高血圧食
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 入浴可能です。 	<ul style="list-style-type: none"> 検査前まで入浴可能、検査後は清拭のみ可能です。 	<ul style="list-style-type: none"> 検査終了後はシャワー浴のみ可能です。 	<ul style="list-style-type: none"> 入浴可能です。
排泄		<ul style="list-style-type: none"> 検査前に尿の管を留置します。安静解除後に抜去します。 		
患者様及びご家族様への説明 生活指導 リハビリ 栄養指導 服薬指導	<ul style="list-style-type: none"> 主治医より治療・検査についての説明後、入院診療計画書の提出をお願いします。 看護師から入院生活と翌日の検査の説明をいたします。 栄養指導の日程調整を行います。 翌日の検査でバスタオルが必要となります。ご準備ください。 	<ul style="list-style-type: none"> 翌日の検査の説明を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 看護師より退院指導を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 検査結果は外来で、主治医より行います。 

注1: 病名等は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。